

四国植物防疫研究

第 28 号

1993年(平成5年)12月

目 次

香川県におけるマイコプラズマ様微生物による病害の発生	都崎芳久	1
高知県における <i>Corynespora cassiicola</i> によるシン株枯症の発生	森田泰彰・古谷眞二	9
ソラマメより分離されたインゲンマメ黄斑モザイクウイルス(BYMV)の性状 と栽培条件の違いが種子伝染率におよぼす影響	笹谷孝英・岩崎真人・山本孝彦	15
ハス褐斑病に対する薬剤の防除効果	金磯泰雄・水口晶子	23
ビニルハウス側面上部の開放による病害の防除 1. 春季一重ビニルハウス側面上部の開放とサヤエンドウ病害の発生	金磯泰雄	31
酵素抗体法(ELISA)および迅速免疫ろ紙検定法(RIPA)によるカーネーション 斑紋ウイルスおよびカーネーションベインモットルウイルスの検出	山本孝彦・岩崎真人・笹谷孝英	43
ムラサキバレンギク(エキナセア, <i>Echinacea purpurea</i>)に発生したモザイク 病(新称)	山本孝彦・石井正義・笹谷孝英・岩崎真人	49
温州高接ぎ宮内イヨのステムピッチングの発生程度と収量の関係	橘 泰宣・石井卓男・渡部悦也	55
60W白熱電球と100W高圧水銀灯を光源とする予察灯の誘殺数の比較 1. イネのウンカ類における誘殺数	宮下武則	61
高知県におけるスクミリンゴガイの越冬状況とその防除対策	山下 泉	71
ミナミキイロアザミウマ: トマト葉へ産下された卵の孵化と孵化幼虫の発育	平野千里・神保 豊・八隅慶一郎・堀池道郎	79
幼若ホルモン剤のマルチ資材への処理による露地ナスのミナミキイロアザミ ウマの防除効果	喜田直康・中野昭雄	83
キャベツ畑のクモ類とクモ類のコナガ幼虫の捕食量	安富範雄・和気坂成一・村井啓三郎・梅津憲治・大熊千代子	89
コナガの効率的な採卵方法	長尾昌人・青木 敏・渡辺丈夫	97
施設におけるハリクチブトカメムンを利用したハスモンヨトウの防除	高井幹夫・安岡 高島 スエリー	103
ハマキアリガタバチの産卵調節	行成正昭	109
(講演要旨)		
愛媛県の新しい花で発生した病害について(1)	上田 進	115
高知県の露地栽培トウガラシ類に発生するウイルス病	竹内繁治	115
徳島県における稻こうじ病発生実態調査1	谷口京子・青木一彦・大植美香・板東康成	116
香川県におけるBLASTAMの適合性	白井英治・川原清剛・宮下武則	116
平成4年度の病害虫発生の特徴とその対策ならびに防除上の問題点		
徳島県	広田恵介	117
香川県	衣川 勝	120
愛媛県	石田典兄	124
高知県	高橋尚之	128
四国地域内刊行物文献目録		135
本会記事		139